

この連載も5周年を迎えました。始めた当初は「とにかく1年間頑張ろう」と思っていたので、5年間も続けられていることが本当にうれしいです。

連載を続ける中で、私は「エデュテイメント(edutainment)」「の大切さを改めて実感するようになりました。エデュテイメントとは、「教育(education)」と「娯楽(entertainment)」を融合させた概念です。子どもの頃、「遊んではかりせず、勉強しなさい」

⑤8 6年目に突入



と親から言われたことがあります。が、「学び」と「遊び」は対極ではなく、むしろ一体となることで、より深い理解につながります。



子どもたちは何も考えずに遊んでいるのではなく、頭の中では、常に試行錯誤をしています。そして、虫捕りで実際に虫を捕まえた

たりするなどの成功体験を経た達成感や楽しさを感じながら学びを積み上げていきます。

正直な話、5年間毎月記事を書くのは大きなプレッシャーです。ネタ枯れが起こり、アイデアを出すことに苦しみ時もあります。しかし、最近では先月のペットボトル

トルネードの実験のように、「日常の何げない出来事に疑問を持てば、新しい発見がある」という考えに至り、今は生みの苦しみはなく、楽しみながら発見する課程の

中でエデュテイメントを実感しながら成長を感じています。

これからも、このコラムのテーマである「教育」「子育て」「科学」「お笑い」を軸に、読者の皆さまに楽しんでいただける記事を書き続けていきたいです。



昨年度は吉本新喜劇の脚本やバラオでの授業など新たな経験を積

むことができました。本年度もさまざまなことに挑戦し、より多くのことを発信できるよう努めてまいります。

また、この新聞での執筆がきっかけで、新たなご縁も広がりました。私は大学では理科教育を専門としていますが、この連載を讀んでくださった方から声をかけていただき、今年6月には「子育て」をテーマに200人規模の講演会

で話をする予定です。専門外のテーマではありますが、楽しみながら講演会に挑戦したいと思っています。

これまでの人生は、転職の連続でした。常に新しい環境に飛び込

みながら、目の前のことに必死で取り組んできました。しかし、その努力が誰かの心に響き、時を経て「ぜひお願いしたい」「また話を聞きたい」と声をかけていただけるのは、何よりもありがたいことです。「一生懸命生きていれば、必ず誰かが評価してくれる」。人生を楽しむためには、人間関係が良好であることも重要、出会った人を大切にしていきたいです。

改めてこれまでのご縁に感謝しつつ、エデュテイメントの視点を大切にしながら、読者の皆さまに楽しんでいただける記事を書き続けていきたいです。